

生活科学部 生活文化デザイン学科

1 専門教育科目の構成

1. 生活文化デザイン学科の教育目的

生活文化デザイン学科は、生涯を通して私たちが直面する生活に関わる諸問題を、「環境」「文化」「デザイン」の視点を軸に総合的にとらえ、次世代のライフスタイルを広く社会に提案できる専門性と実践力をもった人材を育てることを目的としている。具体的には4年間を通じて、家族、衣食住などの生活と経済、環境、地域コミュニティ、それらの歴史と文化、建築・インテリア等デザインを学び、より質の高い生活（ハイ・クオリティ・オブ・ライフ）を実現するために必要な考え方、知識、技能を修得する。

将来は、ライフスタイルにあった住まいを提案できる建築家やインテリアプランナー、時代のニーズに応えられる生活文化関連企業の企画担当者、生活の豊かさを伝えられる家庭科教員、地域に貢献し、そこで生活する人々を支援する公務員になる道も開かれる。21世紀型のライフスタイルを創出・実現する新たな視点を磨く学科である。

2. 生活文化デザイン学科の特徴

生活文化デザイン学科には次の5つの大きな特徴がある。

①【幅広い学問体系】

広く生活全般にかかわる文化事象や社会問題、生活を取り巻く環境を、個人や家族、地域等の重層的なレベルから分析する。そのため、文系・理系の枠にとらわれず、人文・社会科学系から環境科学系まで学際的で幅広い学問体系が用意されている。

②【＜自分の専門＞を創出】

生活にかかわる事象を総合的に捉えつつ、個々の専門性を高めることができる。専門科目の柱として、「専門基幹科目」がある。このなかに、「生活文化・地域社会コース」「建築・まちづくりコース」「住居・インテリアコース」があり2年後期にいずれかを選択する。一人ひとりの関心に応じて履修することにより、＜自分の専門＞を創出することができる。

③【多様な研究手法とプレゼンテーション技能】

文献・社会調査、実験など多様な情報収集・分析技術、コンピュータを用いた解析やプレゼンテーションの技能が修得できる。

④【キャリアデザイン科目を設置】

習得した専門性を将来の人生に確実に活かせるよう、キャリアデザイン科目を設置し、職業観の養成、生活と労働の法律、企業・業界研究等を学ぶ。

⑤【学生主体の生活文化デザイン学会】

生活文化デザイン学科の学生（院生を含む）と教職員からなる生活文化デザイン学会は、学生主体で運営され、研修旅行、就職セミナー、学会誌の発行などの活動を活発に展開している。

3. 教育課程の特色

専門基礎科目…各分野の基礎的知識を幅広く学ぶと同時に、文献・社会調査などの研究手法や情報処理の理論から実践までを学ぶ。

専門基幹科目…家族と社会とライフコース、生活と経済とマーケティング、服飾、生活造形を学ぶ生活文化科目群と、住環境関連の諸科学を中心に生活環境と建築に関する専門知識・技能を学ぶ建築・インテリアの科目群がある。

卒業研究…3年次からゼミに所属し、卒業論文・卒業設計のいずれかに取り組む。

●卒業研究のテーマ例

- ・若者の消費行動－SNSがもたらしたもの－
- ・持続可能なファッションへの見直し－エシカルファッションの課題と可能性－
- ・経路探索行動から見たキャンパス空間－宮城学院女子大学のケーススタディーを通して－
- ・環境心理行動学の視点からみた公共空間の「居場所」に関する研究
- ・地域活性化に資するパブリックスペースのデザイン指標－定禅寺通りの事例を通して－
- ・長期利用に配慮した避難所空間の改善策の提案

●卒業設計のテーマ例

- ・自然環境の中で循環する暮らし－腐る家の提案－
- ・運河の駅－住民の暮らしとともにある貞山運河のありよう－
- ・漁業集落の高台移転における暮らし方

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計124単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は36単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目（計36単位）

- 1年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「自然科学入門」、「音楽の世界」、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎A」、「リベラルアーツ基礎B」、「体育実技」
- 2年次：「生活と福祉」、「英語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「リベラルアーツ基礎C」、「リベラルアーツ基礎D」、「リベラルアーツ総合A」
- 3年次：「キリスト教と現代社会」、「リベラルアーツ総合B」、「リベラルアーツスタディーズA」
- 4年次：「リベラルアーツスタディーズB」

●選択科目

- 1年次：「ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「フランス語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「中国語リテラシーⅠ・Ⅱ」
- 2年次：「体育講義」
- 2～4年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」

2～3年次：「実践フランス語Ⅰ」、「実践中国語Ⅰ」
 3～4年次：「実践フランス語Ⅱ」、「実践中国語Ⅱ」
 3年次：「日本国憲法」
 4年次：「キャリア形成論」

●自由科目（卒業要件単位に含まれない）

1～4年次：「シーズンスポーツ」

2～4年次：「スポーツ」

2) 専門教育科目

専門教育科目は以下の要件を満たし 82 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

- ①「専門基礎科目・理論科目」から 24 単位以上履修すること。なお*の表示された科目（生活文化デザイン入門、衣生活文化論、住生活文化論、住生活環境論、家族論、生活経済学、社会学の基礎、造形数理、基礎数理、生活造形論、生活文化基礎演習、キャリアデザインⅠ）から 14 単位以上履修すること。
- ②「専門基礎科目・演習系科目」から 6 単位以上履修すること。
- ③「専門基礎科目」全体から 30 単位以上を履修すること。
- ④2年時後期に、「生活文化・地域社会コース」「建築・まちづくりコース」「住居・インテリアコース」のいずれかを選択する。
 「生活文化・地域社会コース」はコース別指定の専門基礎科目から 28 単位以上、「建築・まちづくりコース」「住居・インテリアコース」はそれぞれコース別指定の専門基礎科目から 36 単位以上履修すること。

なお、以下も履修すること。

- ①キャリア科目「キャリアデザイン」1 単位を履修すること。
- ②「卒業研究基礎演習Ⅰ」「卒業研究基礎演習Ⅱ」「卒業研究演習Ⅰ」「卒業研究演習Ⅱ」「卒業論文・設計」計 12 単位を履修すること。

3) 自由選択科目

その他に、専門教育科目、一般教育科目、他学科指定の開放科目、学芸員に関する科目の選択科目、及び本学と協定を締結している他大学の単位互換科目から 6 単位を履修すること。なお、学芸員に関する科目の選択科目のうち「住宅文化史Ⅰ」「住宅文化史Ⅱ」「服飾文化史Ⅰ」「服飾文化史Ⅱ」は生活文化デザイン学科の学芸員課程に関する主要科目である。充実した学習のために、両方履修しておくことを勧める。

●キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に履修登録できる単位の上限を設ける制度である。

1 年度あたり登録できる単位数は、前期、後期それぞれ 28 単位、通年で 48 単位を超えてはならない。

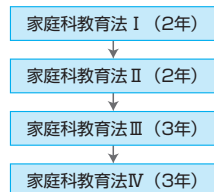
●積み重ねを必要とする科目

次の科目は、特に密接な内容のつながりを相互に

持っているため、下位科目（開設時期が早い科目）を履修しておく必要がある。

同一科目でⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳとローマ数字がついているものは、積み重ねを前提としている科目である。

専門科目ではないが、外国語のⅠ～Ⅱ、家庭科教育法Ⅰ～Ⅳは下位科目（開設時期が早い科目）を先に履修することが望ましい。



(Ⅳは選択であるが、Ⅰ～Ⅳ全部で完結する内容になる)

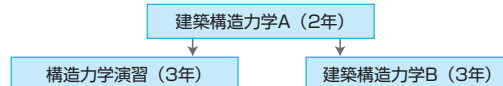
また以下の科目は、下位科目（開講時期が早い科目）を先に履修することが望ましい。

建築設計製図系科目



※「建築・まちづくりコース」、「住居・インテリアコース」を選択した学生はそれぞれのデザイン演習Ⅲを履修することが望ましい。

構造力学系科目



3 取得できる免許と資格

生活文化デザイン学科の学生は、次の教育職員免許状と資格を取得することができる。取得方法については、「資格・免許」(P112～)を参照すること。

免	許：中学校教諭一種免許状（家庭） 高等学校教諭一種免許状（家庭）
資	格：「一級建築士」受験資格 「二級建築士」および「木造建築士」の受験資格 「インテリアプランナー」受験資格 司書教諭 学芸員

また、生活文化デザイン学科には、以下の資格の受験対応科目が開講されている。

- ・ インテリアコーディネーター
インテリアのアドバイザー能力を証明する資格
- ・ CAD 利用技術者
CAD 活用能力レベルを認定する資格で 2 級は筆記

試験、1 級は実技試験。在学中の取得も可能である。

- ・福祉住環境コーディネーター
介護や医療の知識を備えた住環境コーディネーターであることを示す資格。在学中の取得も可能である。
- ・商業施設士
店舗や展示場などのスペースデザインとその工事監理能力を示す資格。商業施設士補は在学中の取得も可能である。
- ・リビングスタイリスト
インテリアをはじめとする住生活商品に関する適切な説明や提案をする接客販売能力を示す資格。在学中の取得も可能である。
- ・シックハウス診断士
シックハウスを予防・解消するために、シックハウス症候群についての幅広い知識を身につけ、住宅の調査、室内空気環境の測定などを行い、専門家としてのアドバイスを行う。また住宅を新築・改築する際に、安全で快適な住環境を提案、コーディネートする資格。在学中の取得も可能である。
- ・キッチンスペシャリスト
安全性や利便性、ファッションに配慮した、快適なキッチン空間を提供する能力を示す資格。在学中の取得も可能である。

4 教育課程表の記号について

- ・「卒業要件」… 卒業に関わる授業科目
- ・「免許・資格」… 免許・資格取得に関わる授業科目

必修	◎
選択必修（複数の科目から指定の単位数を必ず選択する）	○
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	◇
教職（中一種免・高一種免を両方取得希望者）必修	※

生活文化デザイン学科教育課程表

部門	卒業要件	授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			家庭 (中学校)	家庭 (高校)	建築士	学芸員	司書 教諭
一般科目	M G U ス タ ン ダ ー ド 科 目	◎キリスト教	2	2										
		◎キリスト教と現代社会	2			2								
		◎基礎演習	2	2										
		◎日本語演習	2	2										
		◎女性と人権	2	2										
		◎自然科学入門	2	2										
		◎音楽の世界	2	2										
		◎生活と福祉	1		1									
		◎英語コミュニケーションⅠ	1	1						◎	◎			
		◎英語コミュニケーションⅡ	1	1						◎	◎			
教 育 科 目	リ ベ ラ ル ア ー ツ 基 幹 科 目	◎リベラルアーツ基礎A	2	2				可						
		◎リベラルアーツ基礎B	2	2				可						
		◎リベラルアーツ基礎C	2		2			可						
		◎リベラルアーツ基礎D	2		2			可						
		◎リベラルアーツ総合A	2		2			可						
		◎リベラルアーツ総合B	2			2		可						
		◎リベラルアーツスタディーズA	2			2		可						
		◎リベラルアーツスタディーズB	2				2	可						
	キャリア目	△キャリア形成論	2				2							
		△日本国憲法	2			2				◎	◎			
育 国 語 科 目	外 国 語	△ドイツ語コミュニケーションⅠ	1	1										
		△ドイツ語コミュニケーションⅡ	1	1										
		△ドイツ語リテラシーⅠ	1	1										
		△ドイツ語リテラシーⅡ	1	1										
		△フランス語コミュニケーションⅠ	1	1										
		△フランス語コミュニケーションⅡ	1	1										
		△フランス語リテラシーⅠ	1	1										
		△フランス語リテラシーⅡ	1	1										
		△中国語コミュニケーションⅠ	1	1										
		△中国語コミュニケーションⅡ	1	1										
		△中国語リテラシーⅠ	1	1										
		△中国語リテラシーⅡ	1	1										
		△スキルアップ英語	1			1		可						
		△スキルアップドイツ語	1			1		可						
		△スキルアップフランス語	1			1		可						
		△スキルアップ中国語	1			1		可						
		△実践フランス語Ⅰ	2		2			可						
		△実践フランス語Ⅱ	2			2		可						
目 育 目	体 育	△実践中国語Ⅰ	2		2			可						
		△実践中国語Ⅱ	2			2		可						
		◎体育実技	1	1						◎	◎			
		△体育講義	1		1					◎	◎			
		◇シーゼンスポート	1		1			可						
		◇スポーツ	1		1			可						

75

部門	卒業要件	授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			家庭 (中学校)	家庭 (高校)	建築士	学芸員	司書 教諭
専 門 基 幹 科 育 目	専 門	△ 住 居 計 画	2	2						◎	◎	○		
		△ 住 居 デ ザ イ ン 論	2		2							○		
		△ 建 築 史	2		2							○	○	
		△ 建 築 計 画	2		2					△	△	○		
		△ 福 祉 住 環 境 論	2				2					○		
		△ デザイン演習Ⅰ（建築・インテリア）	2		2							○		
		△ デザイン演習Ⅱ（建築・インテリア）	2		2							○		
		△ デザイン演習Ⅲa（建築・まちづくり）	2			2						○		
		△ デザイン演習Ⅲb（住居・インテリア）	2			2						○		
		△ デザイン演習Ⅳ（スタジオ）	2			2						○		
		△ 建 築 一 般 構 造	2	2								○		
		△ 建 築 構 造 力 学 A	2		2							○		
		△ 建 築 構 造 力 学 B	2			2						○		
		△ 建 築 構 造 力 学 演 習	2			2						○		
		△ 木 構 造	2			2						○		
		△ 鉄筋コンクリート造・鋼構造	2			2						○		
		△ 建 築 材 料	2			2						○		
		△ 建 築 構 造 ・ 材 料 学 演 習	2			2						○		
		△ 建 築 生 産（施 工 ・ 積 算）	2				2					○		
		△ 建 築 法 規	2				2					○		
		△ 建 築 環 境 学Ⅰ	2		2					△	△	○		
		△ 建 築 環 境 学Ⅱ	2			2						○		
		△ 建 築 設 備Ⅰ	2			2				△	△	○		
		△ 建 築 設 備Ⅱ	2				2					○		
		△ 都 市 計 画 論	2		2							○		
		△ ま ち づ く り 論	2		2							○		
		△ 都 市 デ ザ イ ン 演 習	2			2						○		
専 門 基 幹 科 育 目	専 門 基 幹 科 育 目	△ 調 理 学 実 習Ⅰ	1	1						◎	◎			
		△ 調 理 学 実 習Ⅱ	1	1						◎	◎			
		△ 食 物 科 学 概 論	2		2					◎	◎			
		△ 食 品 栄 養 学	2			2				◎	◎			
		△ 家 庭 ケ ア 論	2			2				◎	◎			
		△ 家 庭 工 学	2				2							
		◎ キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1	1										
		◎ 卒 業 研 究 基 礎 演 習Ⅰ	2			2								
		◎ 卒 業 研 究 基 礎 演 習Ⅱ	2			2								
		◎ 卒 業 研 究 演 習Ⅰ	2				2							
目 究	卒 業 研 究	◎ 卒 業 研 究 演 習Ⅱ	2				2							
		◎ 卒 業 論 文 ・ 設 計	4				4							

部門	卒業要件	授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			家庭 (中学校)	家庭 (高校)	建築士	学芸員	司書 教諭
教 職 に 関 す る 科 目	◇	教 育 原 理	2	2						◎	◎			
	◇	教 育 制 度 論	2	2						◎	◎			
	◇	教 職 概 論	2	2						◎	◎			
	◇	教 育 心 理 学	2		2					◎	◎			
	◇	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	2		2					◎	◎			
	◇	特 別 支 援 教 育 論	1		1					◎	◎			
	◇	教 育 課 程 論	1		1					◎	◎			
	◇	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	2		2					◎	△			
	◇	特 別 活 動 の 理 論 と 方 法	1		1					◎	◎			
	◇	総合的な学習の時間の指導法	1		1					◎	◎			
	◇	生徒指導 A（進路指導を含む）	2		2					◎	◎			
	◇	教 育 相 談	2			2				◎	◎			
	◇	家 庭 科 教 育 法 I	2		2					◎	◎			
	◇	家 庭 科 教 育 法 II	2		2					◎	◎			
	◇	家 庭 科 教 育 法 III	2			2				◎	△			
	◇	家 庭 科 教 育 法 IV	2			2				◎	△			
	◇	教職実践演習（中・高）	2				2			◎	◎			
	◇	教育実習 A（事前事後指導を含む）	5				5			◎	※			
	◇	教育実習 B（事前事後指導を含む）	3				3				◎			
司 書 教 諭 に 関 す る 科 目	◇	学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2			2								◎
	◇	学校図書館メディアの構成	2			2								◎
	◇	学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2			2								◎
	◇	読 書 と 豊 かな 人 間 性	2			2								◎
	◇	情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2			2								◎
学 芸 員 に 関 す る 科 目	◇	生 涯 学 習 概 論	2			2							◎	
	△	博 物 館 概 論	2	2									◎	
	◇	博 物 館 資 料 論	2		2								◎	
	◇	博 物 館 経 営 論	2		2								◎	
	◇	博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	2	2									◎	
	◇	博 物 館 実 習 I	1			1							◎	
	◇	博 物 館 実 習 II	2			2							◎	
	◇	博 物 館 教 育 論	2	2									◎	
	◇	博 物 館 資 料 保 存 論	2			2							◎	
	◇	博 物 館 展 示 論	2		2								◎	
	△	文 化 史	4		4				} 2科目8単位以上選択必修				○	
	△	民 俗 学	4		4								○	
	△	美 術 史	4		4								○	
	△	考 古 学	4		4								○	
計		一 般 教 育 科 目	67											
		専 門 教 育 科 目	176											
		教 職 に 関 す る 科 目	38											
		司 書 教 諭 に 関 す る 科 目	10											
		学 芸 員 に 関 す る 科 目	35											
		合 計	326											

〔専門基幹科目〕コース別指定科目

●生活文化・地域社会コース

ライフコース論	3年
地域社会学	3年
社会福祉論	3年
家族社会学B	4年
消費経済学	2年
マーケティング論	2年
流通経済学	3年
服飾文化史Ⅱ	2年
服飾美学	3年
現代ファッション論	4年
衣服素材論	2年
衣生活管理論	3年
衣生活環境論	4年
衣服製作基礎実習	1年
被服構成実習A	2年
被服構成実習B	3年
生活造形実習	3年
被服構成学	3年
住居計画	1年
建築史	2年
住居デザイン論	2年
建築計画	2年
建築環境学Ⅰ	2年
建築環境学Ⅱ	3年
生活プロダクツ概説	2年
コマーシャルスペースデザイン論	3年
色彩心理	3年

※「生活文化・地域社会コース」は上記より
28単位以上履修すること

※「建築・まちづくりコース」「住居・インテリアコース」はそれぞれのコース別指定科目より
36単位以上履修すること

●建築・まちづくりコース

住居計画	1年
建築史	2年
住居デザイン論	2年
建築計画	2年
建築環境学Ⅰ	2年
建築環境学Ⅱ	3年
福祉住環境論	4年
デザイン演習Ⅰ(建築・インテリア)	2年
デザイン演習Ⅱ(建築・インテリア)	2年
デザイン演習Ⅲa(建築・まちづくり)	3年
デザイン演習Ⅳ(スタジオ)	3年
建築一般構造	1年
建築構造力学A	2年
建築構造力学B	3年
建築構造力学演習	3年
木構造	3年
鉄筋コンクリート造・鋼構造	3年
建築材料	3年
建築構造・材料学演習	3年
建築生産(施工・積算)	4年
建築法規	4年
建築設備Ⅰ	3年
建築設備Ⅱ	4年
都市計画論	2年
まちづくり論	2年
都市デザイン演習	3年

●住居・インテリアコース

住居計画	1年
建築史	2年
住居デザイン論	2年
建築計画	2年
建築環境学Ⅰ	2年
建築環境学Ⅱ	3年
福祉住環境論	4年
デザイン演習Ⅰ(建築・インテリア)	2年
デザイン演習Ⅱ(建築・インテリア)	2年
デザイン演習Ⅲb(住居・インテリア)	3年
デザイン演習Ⅳ(スタジオ)	3年
建築一般構造	1年
建築構造力学A	2年
建築構造力学B	3年
建築構造力学演習	3年
木構造	3年
鉄筋コンクリート造・鋼構造	3年
建築材料	3年
建築構造・材料学演習	3年
建築生産(施工・積算)	4年
建築法規	4年
建築設備Ⅰ	3年
建築設備Ⅱ	4年
生活プロダクツ概説	2年
コマーシャルスペースデザイン論	3年
インテリアコーディネート特論Ⅰ	3年
インテリアコーディネート特論Ⅱ	3年
色彩心理	3年